



かがやく浜の子

平成30年度 6月号

平成30年度重点目標 気づき 考え 行動する子 「自分から みんなで」

本気で「気づき 考え 行動した」運動会

雲一つない絶好の運動会日和。6月2日（土）の「浜の子運動会」には、多くの保護者や地域の皆さんから、子どもたちへの熱い応援をいただき、ありがとうございました。おかげをもちまして、子どもたちはスローガン『みんなでひらけ 優勝のとびら』に向かって、練習の成果を精一杯発揮することができました。

ソーラン節を演じきった直後、応援席に戻った5・6年生は、ほほを紅潮させ、息づかいも荒いものでしたが、やりきった満足感でいっぱいの様子でした。そこへ、担任が駆け寄り、「最高だったよ」と声をかけると、皆の笑顔がはじけました。

団体競技（へびのだっぴ、綱引きなど）では、クラス全員で作戦を考え、力を合わせて取り組みました。勝利した学級のクラス全員が、こぶしを突き上げガッツポーズをして喜び合う姿には、今まで何回も練習してきたからこそその喜びが溢れていました。

低学年、中学年がダンス、高学年がソーラン節を披露した時には、運動場を囲む保護者や地域の皆さんの目が、一斉に演技する子どもに集まり、会場全体が一体となったように感じました。

閉会式では、赤組の優勝が発表された時、白組団長の顔が、悔しさでみるみる曇っていく様子が見て取れました。涙を必死にこらえて表彰に臨む姿に感動した私は、準優勝のカップを渡す際、「今の悔しさが、本気で取り組んできた証拠です。」と思わず声をかけてしまいました。赤組の応援団の中にも、優勝した喜びに、嬉し涙がこみ上げる目を手でおおっている子の姿がありました。



【全力で舞ったソーラン節】

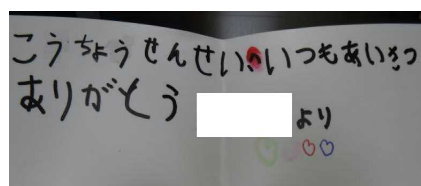


【勝利の瞬間のガッツポーズ】

行事は結果も大切ですが、当日までの過程（取り組み方）がより重要だと考えます。運動会は一年間の中で、とても大きな行事の一つです。そこに向かって、子どもたちは本当に一生懸命に取り組んできました。体育の時間はもちろん、朝、登校後、進んで運動場に出て、トラックを何周も走る子がたくさんいました。友達と誘い合ってバトンパスの練習を繰り返す子もいました。昼休みに、集まって団体競技の練習を進んで行うグループや学級がありました。縦割り班でボール送りリレーの練習をする際に、上級生は、何とか早くボールが送れるようにと、作戦を立てたり下級生にアドバイスをしたりしていました。昼休みには、自主練習をする応援団の声が、毎日のように校長室まで響いてきました。

このような運動会に向かって取り組んできた一つ一つが、「自分から みんなで」どうしたらよいかを「気づき 考え 行動した」姿でした。運動会を通して浜の子は、また一つ大きく成長することができました。

朝、校門で子どもたちに「おはようございます」の挨拶をしていると、嬉しいことに出会います。「校長先生、いつも挨拶、ありがとうございます」と言ってくれたり、手紙などを渡してくれたりする子がいるのです。「あさしおごはん」の「あ＝ありがとうございます」は、受ける側を本当に幸せな気持ちにする言葉であることを実感すると同時に、浜の子の優しさをうれしく思っています。（文責 校長：石谷）



【1年生からの手紙】